

令和元年度 獨協埼玉高等学校 自己評価シート

目指す学校像	多様かつハイレベルな進路目標をめざす集団作りと併せ、豊かな環境のもと、自ら考え、判断できる若者を育てる。
--------	--

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 能動的学習をなおいっそう取り入れ、自ら考え判断できる若者を育てる。 2. 多様な進路目標の実現に向けて努力する。 3. 登下校時の安全とマナーの向上を図る。 4. 学校生活の安全性と快適性を向上させるため、安心・安全な学校作りを進める。
------	--

達成度	A	ほぼ達成	(8割以上)
	B	概ね達成	(6割以上)
	C	変化の兆し	(4割以上)
	D	不十分	(4割未満)

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価
年 度 目 標					年 度 評 価 (3月31日 現在)		実 施 日 令 和 2 年 6 月 13 日
番 号	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 度	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策
1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自ら考え判断できる若者を育てるために、積極的に学ぶ姿勢を促し、自ら考え・表現する活動の機会の保障を十分に行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の質の向上をはかり、生徒の興味・関心を育む。 ○ 能動的・主体的に学び表現する態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の改善を目指して授業アンケートを実施する。 ○ 発表の機会を積極的に取り入れる。 ○ 獨協コースの活動を学校内外に効果的に広報する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業アンケートを実施したか。 ○ 能動的学習につながるような授業実践および効果的な課題設定を引き続き探求したか。 ○ 発表の機会を積極的に取り入れたか。 ○ 獨協コースの広報活動を積極的に行ったか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業アンケートを2学期末に実施した。 ○ 意欲を喚起する効果的な課題の設定については3年の授業等での取り組みが徐々に増えてきた。 ○ 3学期に論文発表会を校内実施した。 	B+	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発表の機会について、どの教科も積極的に取り入れるようになった。 ○ 意欲を喚起する効果的な課題の設定については十分とは言えない。継続的に取り組みがなされるよう工夫が必要である。 ○ 獨協コースの学びのPRを早期学年に行う必要があり、実施することを前提とした次年度年間計画策定を行う必要がある。
2	<ul style="list-style-type: none"> ○ より質の高い学習と自発的かつ継続的学習を促す授業展開及び環境整備を推し進める必要がある。 ○ 生徒の進学要求に応える必要がある。 ○ 教員の上級学校情報の共有化を目指す必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自発的な学習を促す。かつ継続的学習につながる指導と工夫を行う。 ○ 家庭学習習慣の更なる確立を目指す。 ○ 英語4技能向上への充実を図る。 ○ 講習等の充実を図る。 ○ ICTを活用した教育実践を積極的に行う。 ○ 情報共有の機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自習室の活用機会の保証を図る。 ○ 学習者主体の能動的学習を適切に授業に取り入れる工夫をする。 ○ ICT機器を積極的に活用し、主体的・協働的な学びの場や探究活動につながる深い学び等の指導と工夫を行う。 ○ 難関大学の入試に対応した授業や講習を積極的に行う。 ○ 他大学入試情報等情報共有の場を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自習室を積極的に開放したか。自習スペースを拡大充実させたか。 ○ ICT環境を整備したか。 ○ ICTを積極的に活用したか。 ○ 主体的・協働的学びにつながる工夫と環境整備に対処したか。 ○ 難関大学の入試に対応した授業や講習および発展的学習の機会の提供を行ったか。 ○ 大学入試情報および併設大学の特色について情報共有の場を設けたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自習室は、下級生にも開放できるよう便宜を図った。 ○ 全教室プロジェクターを整備した。 ○ 各教科でICTを活用した教育実践が更に拡充した。 ○ 夏の教研集会で「探究活動の研究会」を実施した。 ○ 夏の教研集会で、「獨協大学の2学科の説明会」を実施した。 ○ 各講習において、難関上位大学と中堅大学等のグレード別対策講習を実施した。 	B+	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自学自習用のスタディサプリの活用度合いは不十分である。各教科での誘導も必要である。 ○ 英語公的資格に対し、学校をあげて生徒の資格取得・能力向上に取り組む必要がある。 ○ それぞれの教科で発展的・能動的な学習の場を引き続き提供し続ける必要がある。 ○ ICTを活用した教育実践が行えるよう、教科内・校内研修および学外研修を奨励し、積極的に取り組めるよう引き続きに努める必要がある。
3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 登下校時の安全とマナーの向上が求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 登下校時の安全とマナーの向上を図る。 ○ 他者に配慮した行動がとれるよう、道徳心を育む。 ○ 積極的に挨拶する習慣をつける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ バスの乗車指導を継続する。 ○ 試験期間中の通学路での下校指導を継続する。 ○ バスや電車内等、公共の場でのマナー向上に努める。 ○ 教員自ら積極的に挨拶を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 乗車指導、学校周辺での登下校指導を継続したか。試験中の通学路での下校指導を継続したか。 ○ バスや電車内のマナーにかかわる苦情はなくなったか。 ○ 日常生活の中で、積極的に挨拶を行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ バスの乗車指導、駅周辺での指導を継続して行った。 ○ 試験期間中の通学路での下校指導を継続して行った。 ○ バスや電車内マナーの苦情は減少傾向にあるが皆無ではない。 	B+	<ul style="list-style-type: none"> ○ 登下校での安全対策とマナー向上、および、電車内のマナー向上には継続した指導が必要がある。 ○ 日常的な登下校指導への取り組みは難しいが、パトロールするなど改善および工夫が必要である。 ○ 挨拶を含め積極的なコミュニケーションをはたらきかける必要がある。
4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒が安全に生活できるような環境作りを継続して推進する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大地震に備えた態勢づくりを図る。 ○ AED講習を行う。 ○ 携帯マナー教室を行う。 ○ 不審者侵入対応マニュアルを整備する。 ○ 休日の校内活動における来校者の把握に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地震発生に備え、食糧備蓄を維持する。また、避難訓練を実施する。 ○ AED講習会を開催する。 ○ 携帯マナー教室を実施し、SNSなどの安心・安全な利用法を理解させる。 ○ 不審者侵入に備えた態勢を確立する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3日分の食料・飲料水の備蓄を維持したか。 ○ 避難訓練を実施したか。 ○ AED講習会を開催したか。 ○ 新入生を対象に携帯マナー教室を実施したか。 ○ 不審者対応マニュアルを周知したか。 ○ 休日の来校者把握に努めたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 5月に高1を対象とした携帯マナー教室、10月に高2に対しAED講習会を実施した。 ○ 5月に全校生徒対象の避難訓練を実施した。 ○ 不審者対応マニュアルに基づき来校者を把握した。 ○ ながらスマホの対策を校内および登下校に講じた。また、HRでの注意喚起を行った。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今後も備蓄は継続する。 ○ 避難訓練・AED講習・携帯マナー教室は毎年実施する。 ○ SNSを用いたトラブルを未然に防ぐための対策と対処法の共有を一層はかる必要がある。 ○ 部活動中の事故や苦情に対し、活動中の安全対策とマナーを徹底したい。

学校関係者からの意見・要望・評価等

- 獨協コースは、高大連携として大学レベルの学習機会提供と自ら学ぶ姿勢を高める本校ならではの特色あるもので一層の充実を。高1.高2.で獨協コースに興味がある生徒のために、獨協卒業生で獨協大学に進学した学生で様々な学科の方から話を聞ける機会がさらに増えると良いと思う。
- 英検などの公的資格については大学入試に当たっても有利となるものであるもので、一層の対策と取り組みを望む。スタディサプリは教員負担の軽減も目的に導入されたと思う。さらなる活用を。英検などの英語試験のための補習や夏季講習は、級が限られているので、全学年対象でいいと思うので、級別の補講などがあるといいと思う。また、高1は自習室が使えないということだが、高2.高3の真剣に勉強に取り組む生徒の姿を見るのもいい環境だと思うので検討していただきたい。テスト前の自習は1クラスを開放しているようで、先生も質問を受けるために来てくれるそうで、それはいいと思う。

- 苦情の原因が何であったのか、生徒とともに考え、より安全で節度ある生活習慣の実現を望む。
- バスの乗り降りや電車内でのマナーはこれから一人ひとりが意識して気をつけていただきたい。挨拶も少ない気がするので、こちらから声を出していきたい。部活動後に徒歩で駅まで向かう生徒の中には、マナーを守れず広がって歩き、通行者や車の迷惑になっている事があると聞いている。登校時のバス停や下校時に教員が指導しているのはありがたく思う。
- 備蓄品やマナー講習については、今後も継続的にどうぞよろしくお願ひします。